

ふくしまは負けない明日へ

原字は斎藤ゆうあさん
川俣町・富田小4年)

浜通り創生

田村市都路町

桜美林大の学生、地域活性化へ継続活動

継続的な交流を通じて辯を強めた桜美林大の学生と、都路中の生徒



A heart-shaped cookie with white frosting and small orange and yellow candies, resting on a striped napkin.

バレンタイン限定



ピザ釜を作る桜美林大の学生



鬼を口がけて立を投げる児童

地域の伝統文化に触れる

都路小

都路中生が「卒業証書」贈る

桜美林大（東京都）は二〇一四（平成二十六）年度から田村市都路町の地域活性化に向けて継続して活動している。二〇一八年度の四年生は地域住民の心に寄り添い、子どもたちの心を動かした。今月には都路中の生徒が発案した四年生の卒業を祝う会が催された。

同大の卒業生が田村市復興応援隊に就職し、仲介したのがきっかけで活動が始まった。現在の四年生は昨年度から二年間にわたり地域住民と親しく交流してきた。年間五十日以上、都内から自費で駆け付けた。

が都路町の魅力をさらに発見し、定住または帰ってきてたいと思う町を自ら発見つくること」をテーマに活動した。交流の場をつくる目的で、昨年五月から四ヶ月かけてピザ釜を作り、小中学生とともにイベントを開催した。八月には野外シア

今月一日に市内都路町の
よりあい処華で開かれた
「四年生の卒業を祝う会」
では、中学生が考えたゲー
ムを楽しみ、手作りの卒業
証書を学生に手渡した。一
緒に作ったピザ釜で焼いた
ピザを食べ、別れを惜しみ
ながら交流を深めた。中学

ターや企画し、空気の澄んだ夏の夜空の下で映画を観賞した。十、十一月には子どもたちの主体性を鍛えるためのワークショップを開催し、小中学生百らがイベントの企画を考えた。

生から「今度は自分たちが都路町をよくする活動をしていく」との意気込みが聞かれた。熱心に活動した桜美林大ちが協力し合えば素晴らしい活動になる」と都路未来に期待した。